

令和4年度 絵画科日本画専攻 出題意図

1次 鉛筆素描

観察力、構成力や基礎的な描写力の有無を判断するための出題である。

テーブルの上に布を敷き、背中合わせに3体の石膏(ジョルジョ)を置くことで、静物画としての要素も加えた 空間認識力、構図の工夫がされているか また絵画としての意識を持って全体のバランスを捉えられているかも評価の対象となった

2次 着彩写生

各自がモチーフを組むことにより、構成力 出題意図をどのように解釈したかを見る。

対象の大小関係や平面上の位置関係を見る力、空間認識能力、明度・彩度を含む色彩感覚を持ち、それらを表現する力があるかを判断するための出題である モチーフそのものの実感や 質感等の様々な違いが描き分けられた上で、全体のバランスがとれているかも大切な評価基準である